

深の歴史余話

(十五)

高崎 壽郎



堂の現状と大谷浄土堂
 沖成瀬峠堂
 堂の改築や補修は、講中の出夫や寄付などによって行われる。管理の責任者は、創建者またはその子孫、堂所在地の地主、山主、講元などがなっている。管理者の努力にもかかわらず、現況は老朽化あるいは荒廃したのが多くなっている。戦後、信仰意識、村落共同体的意識が薄くなるにつれ、世話をする人もいない状況におかれ、道路、宅地等の土地造成その他の開発のため、廃棄または移転を余儀なくされたり、中には旧道に放置されたまま山林原野に埋もれたものもある。

浄土堂は中組大谷にあったが、堂は崩壊して無い。本尊は地藏菩薩で石仏六体(丸彫坐像)が寂しく坐る。石仏は地藏と思われるが、内五体は首なし。うす暗い林の中に無気味な空気が漂う。尚、余談であるが、一般に地藏には首なしのものが多いう。

それは、不心得者がいて博打などで「つき」を呼ぶため、地藏の首を懐にしてその場に臨んだという。そして、当たった時はお札をいって元の場に返した。捨てるものが多かったという。この堂は、深と久山田の村境に位置していた。道は尾道への近道で、かつて村役場が久山田にあったので、村会議員や役場に用事のある人がよく利用していた。また、農作物や薪用の粗朶(たがひ)などを、正月用の粗朶(たがひ)などを尾道へ運ぶ道でもあった。

浄土堂は、この道を入き来する人々にとっては、疲れをいやす格好の場所であった。が、今は昔日の面影はなく、深からは雑木が邪魔して通れない。このままでは、いずれ山林に埋没するかもしれない。

(丸彫坐像)から成り、木骨塩ビ張り、雨露を凌ぐ仮の宿である。近所の二人の女性が熱心な堂守。

以前の峠堂は、深から山中村(現中之町)へ通じる村境にあり、そこを行き来する人々は必ず立ち寄った。堂の傍には樹齢何百年と思われる老松が辺りを見下ろしていた。三原へ用事のあった者は、その一本松のある堂にたどり着くと、やっと深く帰ったような気がしたという。その松は昭和三五年(二六〇)頃倒された。

存在するものには必ず合理性がある。人間が何世代もの間、伝承してきたことには、宗教的要素があるという意味以上のものがある。近代化し大形化し中央集権化の進んでいく地域社会において、公民館その他の集会所が、役場などのある中央部に集中している。



- 深の堂
- ① 堂
 - ② 堂
 - ③ 堂
 - ④ 堂
 - ⑤ 堂
 - ⑥ 堂
 - ⑦ 堂
 - ⑧ 堂
 - ⑨ 堂
 - ⑩ 堂
 - ⑪ 堂
 - ⑫ 堂
 - ⑬ 堂
 - ⑭ 堂
 - ⑮ 堂

「還暦からの出発」

坪見 博文

先日、中学校のクラス会を八月十五日に「還暦クラス会」と命名して開くと案内が届いた。折り返し出席の返事を出した。いよいよ人生開花の時が迎えられると喜んだ。一生つぼみのままで終わった両親に申し訳けない。父母弟は先に天国へ行った。私が親孝行をしない内に。弟は、私とよく気が合っていたのに、私になつていた娘のことを私に頼まず、兄弟にも少し遠慮して静かに天国へ。

私も父の年齢に追いつき来年は追い越す。やっとなりの考えを中心にするのが出来るようになった。檻から出て、野性の生活が出来る気がする。今その準備をしている。山の中で自然と一緒に他人に迷惑を掛けず、少しでも世の役に立つことがしたい。色々計画を考えている。あれも、これもとやりたいことが次々と出て、命が少し足りないくらいだ。死ぬまで働いていけるよう準備にも工夫しているが、体験しないので少し不安だ。四月の末、伯母さんが骨折で入院、介護の手伝いをしているが、手術の折、天国へ行って色々な物を見てきたと話す。その話の中で、生きている時体験し

た印象深いことが混じっていた。そこで思ったのだが、この世の花を美しく咲かせ、一人でも多くの人に、天国に行ったら後でも喜んでもらえるよう生きることが一番と考え、先ず自分が幸福な心を持ち周囲の人に思いをしてももらえるよう元気に生きたい。この世の続きが天国にもある気がする。

「ぴよぴよハウスの案内」

三原市立深幼稚園

三原市立深幼稚園では、「家庭の教育力充実事業」として、年七回の「ぴよぴよハウス」を未就園児を対象に開いております。

五月には「おさんぽさんぽ」七月には、「水あそび」を実施いたしました。

今後の予定は...

- ☆九月二十六日 「運動会って楽しいな」
- ☆一〇月一三日 「保健婦さんと一緒に」
- ☆十一月二〇日 「サンタがやって来る」
- ☆一月二三日 「とんど」
- ☆二月八日 「スライムで遊ぼう」



又、毎週火曜日(雨天以外)は、午後一時半から園庭を開放して公園のほとんどの深町で子どもたちに遊び場を提供しています。小さな子どもさんのいる方(おじいちゃん、おばあちゃんの子守をされている方は、是非遊びに来て下さい。案内状を送りますので、お気軽に深幼稚園へご連絡下さい。

連絡先 三原市立深幼稚園
 TEL 0854-07-0000

盆踊り練習のお知らせ

女性会

灼熱日の連続です。昨年中止されました盆行事、今年はフルコースで計画されています。女性会が主に行ないます盆の手踊り練習を、左の予定で行ないます。女性会員外の方も気軽にお出でください。

組	責任者	練習日時・場所
上組	岡崎幸子	八月七日(土)十日(水)
中組	崎山千代子	午後八時~九時半(深町)
下組	神田ササ子	各公民館

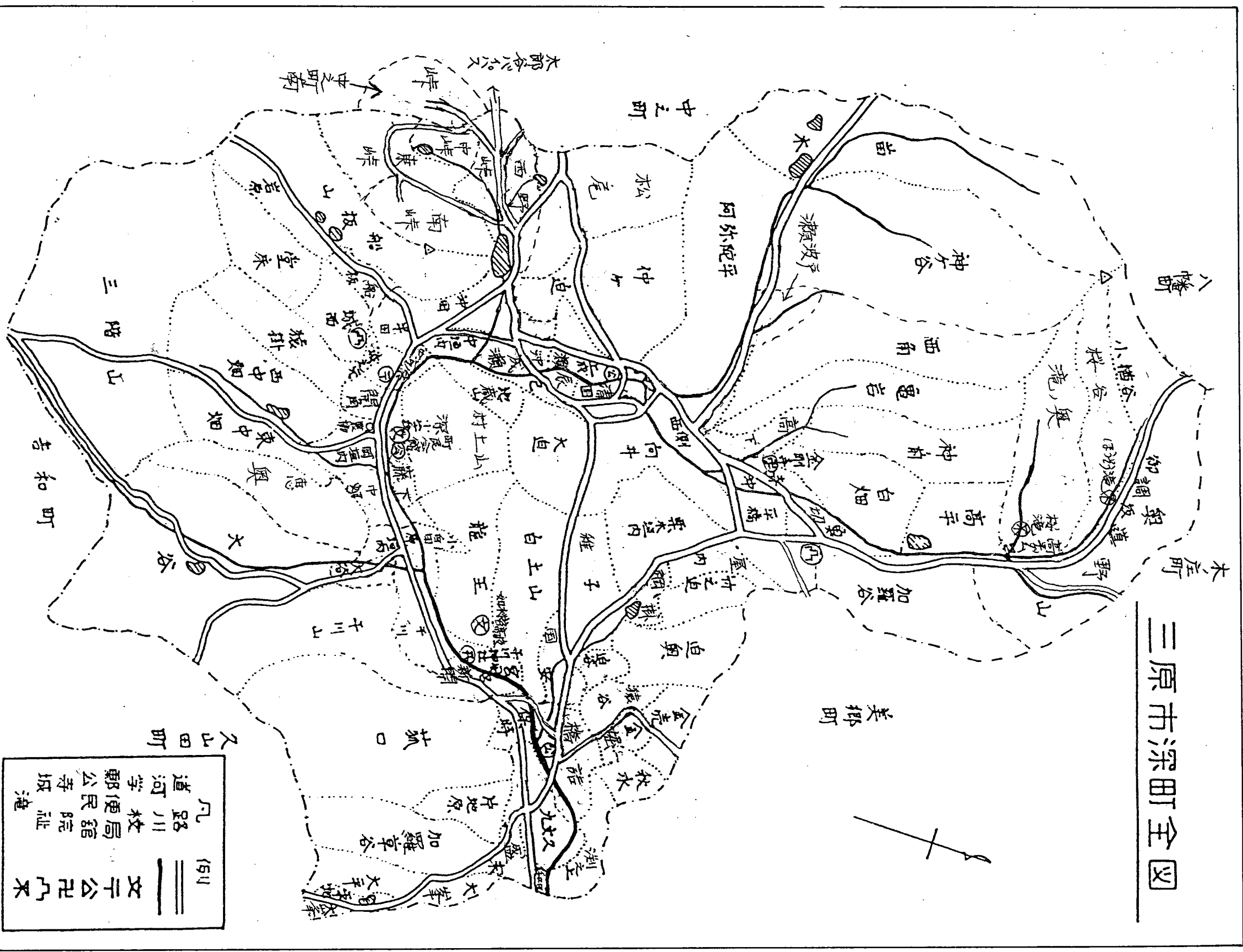
廃品回収

今年、十月より家庭から出る生活廃品の選別基準が変わります。先月(七月)開かれた選別委員会では、選別基準の決定が完了し、八月二十三日(水)から実施されます。

- 上川新谷 明
- 中川村井 治子
- 中川力武 光江
- 下川河原 栄子

この地図は、次号「苗字について」で参考してください。

三原市深町全図



1911
 文子公記凸平
 凡路川 校局 郵便 院 址
 道河 学 郡公 寺城 滝